

PTA会報
NO 31

さくら



編集・発行 2021年10月4日
神河中学校 PTA文化・研修部

第11回体育大会（9月12日実施）



選手宣誓（部活動）



応援合戦



全員リレー



みんなでジャンプ



生徒会ダンス



部活動行進

中学総体を終えて

神河中学校PTA副会長 一宮 宏平

コロナで制約のある中、開催された中学最後の総体を応援に行きました。試合会場に入ると、独特の雰囲気があり、見るだけなのに緊張感に包まれました。こんな中で子供たちは試合をするのか、と思ひながら歩いていると、娘発見。

声を掛けようと近づくと、眉間にしわを寄せながら「何でおるん?」と一言。それにより、父撃沈。それからは離れた所から応援することに。

試合が始まってみると、真剣な顔。試合の間にみんなと一緒にいる時のリラックスした顔。どちらの顔も家では見せたことのない顔でした。そんな顔を見ることができて良かったです。

中学生になって始めた競技で、二年半本人なりに努力したと思いますが、先生方のご指導により、体力的にも精神的にも鍛えて頂きありがとうございました。部活動を通して学んだ上下関係や礼儀作法、友達の大切さ、楽しかったこと、辛かったことなど、たくさんの方があったと思います。それが大人になっても思い出として記憶に残っていることでしょう。

後は、受験に向かって全力で勉強してくれる事を望みます。提出物の忘れ物の無いように…。

予測困難な時代を予測する

神河中学校教頭 戸川 勝

今年度より、中学校でも「新学習指導要領」がスタートしました。その学習指導要領改訂の基本的な方向性として、西暦2030年を想定し「予測困難な時代に一人一人が未来の創り手となる」ことが重要であるとされています。その上で予測が困難だから「どんな状況になっても、その状況に主体的に対応できる資質や能力を身につけましょう」と記されています。

これだけを聞くと、その時になって判断できるようにと聞こえます。しかし私が思うに、2030年は今の2021年とつながっています。明日、いきなり2030年になれば、本当に予測は困難ですが1日1日の積み重ねが2030年につながります。日々の生活の中で、1日先のこと、1週間先のこと、1ヶ月先のこと、1年先のこと、10年先のことを考えていくことが2030年の予測につながると思います。

そんな未来に思いをはせながら、今日のこの予測はどうなっているのか思うことがあります。雨の日の下校時には、職員室前の公衆電話に行列ができます。雨の日の朝に車で送ってもらった人は、おそらく帰りも車のお迎えが必要なのでしょう。そして「いま終わったから迎えに来て」と電話をしています。突然下校時刻が変わったのなら連絡は必要ですが、終HRは予定通りの時刻に終わっています。迎えの時刻は予測可能です。早めに来ては迷惑がかかるからと、終わったら連絡をするようにしているのかなと思うのですが、朝のうちに帰り時刻の打ち合わせはできないのかなと思います。その時になって連絡ができるのは、携帯電話の普及のおかげです。私が学生の頃は、友だちと別れるときに、次は何月何日の何時にどこでと、きめ細かに決めておかないと次の待ち合わせができませんでした。便利な時代になったのですが、その分、行き当たりばったりといった感が否めません。

「計画は崩れやすいだからこそ計画性が重要である」…故野村克也さんの言葉です。「テスト前に計画を立てても、計画通りいかないから計画なんて立てなくてもいい」という人がいますが、計画通りいかないからこそ、立てた計画を修正しながらテスト調べをしていくことが大切になります。

30年後とは言いません、ほんの少し先のことを予測して行動することを心がけてみてはどうでしょうか。私も日々の出来事の中で心がけたいと思います。

コロナ禍での体育大会

体育補導部長 中島 圭一

9月12日、3年生にとっては中学生最後の体育大会が行われました。昨年と同様にコロナ禍のため、観覧者の数を制限したり、演技を縮小し午前中だけの開催にしたりと、ウイルス対策・3密への配慮など大変だったと思います。

私は息子が中学生になってから仕事の都合で1年生・2年生と体育大会を見ることができなくて、この度息子が3年生になって初めて中学校の体育大会を見ることができました。

特にすごいと感じたのが、応援合戦。今年は例年よりも練習日数が少ないと聞いていましたが、とてもそうとは思えないほどのチームもダンスが揃っていました。練習時間があまりとれない中でもみんな集中して練習したんだなと思わせる素晴らしい演技でした。

部活対抗リレーで、全力で走る息子を見て、成長したなあと感慨深く思いました。

コロナ禍で大変な中、試行錯誤してくださっている先生方と、一生懸命頑張る姿を見せてくれた子ども達に感謝を感じた体育大会でした。

最後になりましたが、我が子の成長を見る機会をありがとうございました。



準備体操

神河町と私

2学年主任 久後 則彦

平成元年度から平成10年度まで、私は神河中学校の前身である神崎中学校で10年間勤務させていただきました。20代後半から30歳前半の頃です。当時は学級担任として、温かい学級づくりを目標に学級経営をしていました。“人を思いやる心”“みんなで協力して取り組む心”“人に感謝する心”を大切に、生徒たちと接してきました。朝7時20分頃に学校に行き、夜は8時以降に学校を出る毎日で、1日の半分以上を神崎町(当時)で過ごしていました。また、10年間も家庭訪問をしたり、生徒を家まで送ったりしていると、自分が住んでいる町より詳しくなり、神崎町に郷土愛を感じるようになりました。学校を離れる離任式で、「神崎町は第二の故郷(ふるさと)です。」と言って生徒たちと別れたことを今でも覚えてます。

元号が変わり令和元年、神河中学校に異動となりました。月日が経つのは早いもので、かつての神崎中の生徒たちは、神河中の保護者になっていました。私が神河中に赴任してきたことをきっかけに、同窓会を開いてくれました。卒業してから28年も経ち、地元から離れている人もたくさんいるのに半分以上もの同窓生が集まってくれました。お互い年をとっており、とても懐かしく、嬉しいひとときを過ごすことができました。



連合ジャンプ

今は神河中12回生の学年主任として、学年目標「ともに伸びよう」を合い言葉に生徒たちを見守りつつ支援しています。生徒たちは、行事を通して大きく成長しています。リーダーとして育ちつつあります。7月には、中播総体&西播吹奏楽コンクールの「壮行会」を立派にやってくれました。しかし、コロナ禍の中で、ほとんどの行事が中止、延期、縮小されています。この12回生でも、これまでにわくわくオーケストラ教室が中止になり、スキー実習やトライやる・ウィーク(TW)が延期になりました。この10月以降に、「校外学習」「TW」「合唱コンクール」「マラソン大会」「スキー実習」「3年生を送る会」等の大きな行事を控えています。『冬には第6波が・・・』という報道もありますが、これらの行事が無事実施できるよう願うばかりです。



体育大会を終えて…



本当に思い出に残る体育大会になりました！コロナの影響で規模が縮小されて競技も少なく午前で終わってしまったけど、最高の時間になりました。応援合戦では、応援団の中心となり全員で協力して1, 2年生に教えたりしました。「バナナ」や「キューティーハニー」のダンスは本当に踊れるのか心配だったけど、全力で踊るとオールイエローの気持ちが1つになった気がして本当に楽しかったです。連合ジャンプやみんなでジャンプは練習のときあまり跳べなくて心配だったけど、当日は練習のときに跳べたことがないくらいの回数が跳べて嬉しかったです。全員リレーは最後まで順位が分からなくて全員が上手にバトンを繋いで、1位には届かなかったけど、2位でゴールすることが出来ました。本当に団結力があるクラスだと思いました。連合でも学年でも優勝することができて嬉しかったし、こんなに仲が良くて全力で取り組める1組で頑張れてよかったです。次は合唱コンクールです。今回の体育大会よりも熱く、そして(松岡)修造を超えるような合唱にして、次もこの1組で絶対に優勝したいです。

体育大会を終えて、すごく楽しかったです。1位にもなれずに悔しかったけど、みんなで協力できてよかったです。1, 2年生もちゃんと最後まで協力してくれて嬉しかったです。3年生も最初はあまり動いてくれない人も最後にはちゃんと動いてくれてすごくいいものができたと思いました。本当に嬉しかったです。学年では最下位だったけど、男子も大縄でたくさん跳んでくれたし、全員リレーでもみんなで頑張れたのでよかったです。やっぱり2組が1番でした！団結力も絆もすごく強いと感じました。1番輝いていました。全員リレーも〇〇君がもう最下位なのに本気で走ってくれたり、応援もみんなで最後までできて、最後は拍手で終わって感動しました。最後の体育大会がこのクラスでよかったなと思いました。



最初は不安ばかりで心配していたけど、今になってみれば体育大会が終わるのがすごくさびしいです。でも、この体育大会のおかげで成長できたことがたくさんありました。体育部として前に立って説明したり、全校生を動かしたり、大変だったけど、すごく楽しい1週間になりました。前に立って話すのは難しいけど、緊張していたのが？のように普通に話せるようになりました。オールブルーは、とても団結力があっていいチームだと思いました。優勝できなかったのは悔しいけど、今までで1番の応援合戦になったと思います。これで中学校生活最後の体育大会が終わってしまったけど、素晴らしい思い出になったと思います。この3組の団結力で他の残り少ない行事も頑張って楽しみたいです。

今年の体育大会も午前中だけだったけど、3年間の中で1番楽しい体育大会になったと思います。予行や練習のときみたいに上手いかなかったところもあったけどすごく盛り上がったし、応援とかもすごくしてとても良かったと思います。連合ダンスで初めは踊れるのか心配だったけど、本番でちゃんと踊れたときはすごく嬉しかったです。中学校生活最後の体育大会は3位だったけど、すごくいい思い出になりました。今年の体育大会、大成功でした！





2年生

結果は全部負けてしまいましたが、本番まで全力で勝ちを目指して練習したことはすごく思い出に残りました。また、負けてもデカイ声が出せたことや、最後は笑顔で楽しく終われたことはすごく良かったと思います。実行委員や体育委員として、色々な役割が与えられて、すごく緊張しましたが、みんなの前で話したり、指示したりすることはいい経験になりました。来年は自分たちが前に立って、今年よりもいい体育大会ができるように頑張りたいです。

いつもより短い練習期間の中、あんなに盛り上がる体育大会ができて本当によかったと思いました。時々体調不良で休んでしまった時があり、みんなに迷惑をかけたけど、34人で学年1位を取れたことがとても嬉しかったです。また、「みんなでジャンプ」の時は練習では30回以上跳べなかったけど、本番では50回以上跳べて驚きました。今日の体育大会は凄く良い思い出になりました。延期になったけど出来て良かったです。

体育大会は、実行委員会の方のいう通り、1人1人が主役の体育大会になったと思います。最初は、ジャンプであまりひっかからずたくさん跳べるかとか、リレーはバトンパス上手くできるかとか、不安なところがたくさんありました。だけど、ジャンプは男子がノーミスで60回、女子はひっかかったけど42回とベストを尽くせました。リレーは、〇〇君とのバトンパスで練習のときに毎回ミスしていたけど、今回はスムーズにバトンパスをすることができました。種目は少なく短い体育大会だったけど、十分楽しめたかなと思います。みんなで"絆のバトン"をつなげました。来年の体育大会は自分たちが中心になってつくっていきます。今年の体育大会に負けないような盛り上がる最高の体育大会にしたいと思います。



1年生



私はこの体育大会を終えて、いろいろなことが学びました。仲間と一致団結して体育大会を成功させることでの達成感、積極的に自分から行動することの大切さです。中学生になって初めての体育大会で分からないこともあったけど、先輩たちに教えてもらったりしてすごく楽しかったのでもいい体育大会になったと思います。勝敗はどうだろうと一生懸命努力することの大事さもわかりました。本番前のクラスの大縄ではあまり上手くいかなかったけど本番では練習より多くとべてめっちゃうれしかったです。本番にいい結果が残せて本当に最高の運動会でした。

体育大会の練習では、大縄跳びは最高で30回ぐらいだったけれど本番では41回跳ぶことができて気持ちがいっしょにそろった結果なんだと思いました。2000mの全員リレーは順番を変えてぶっつけ本番だったけど、42人全員が頑張ってくよく走ることができたし、負けたけどいい戦いをしたから心に残りました。連合では、しっかり演技もできてダンスも順番を間違えず踊ることができたので楽しかったです。練習が短い体育大会だったけど、みんなで協力して頑張ることができたので思い出に残りました。



文化・研修部のみなさん

夏休み、体育大会を終えて

井上 京子

昨年3月ごろから続いています新型コロナウイルス、いつになれば終息するのでしょうか？ 私たちの生活を大きく変えてしまった新型コロナウイルスは、子どもたちに大きな影響を与えています。そんな中において、学校の先生方は、授業や行事を通常通りこなしていくことに本当に苦慮されていることでしょう。

夏休み期間中も子どもながらに友達と遊ぶことなど外出も控え、家の中でテレビやゲームと仲良しになり、ストレスを抱えながらの夏休みだったと思います。このような中で十分な時間もあつた中にも関わらず、夏休み期間中の宿題もぎりぎりに仕上がり、何とか中学生最後の夏休みも終わりました。

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言がされている中で、2学期がスタートし、縮小した体育大会が行われましたが、親として寂しさもありましたが、子どもは「仕方ないやん、その代わり僕の食べたい弁当を作ってよ」と言い、私も「うん、わかった。どんな弁当にしてほしい？」と子どもに尋ねました。子どもは「そりゃあ、サンドイッチやろ。」と言い、体育大会前日、仕事の疲れもよそに心のこもった美味しいサンドイッチをたくさん作りました。そして、体育大会当日の朝、「まさかの雨？」の音で目を覚ましました。「延期だよね・・・」と心の中で呟きながら6時の中学校からのメールを待ちました。やはり、延期のメール。子どもに雨で延期を伝え、サンドイッチは朝食へと変わりました。朝ごはんを食べる子どもに、「明日のお弁当はどうする？ノーマルのお弁当？サンドイッチ？」と聞くと、「そりゃ、サンドイッチやろ。」「え？今日食べてるのに？」「それはそれ。」とのやりとりをし、心の中で「私のサンドイッチがよっぽど好きなんやな。うふふ♪」と嬉しくなりました。そして、あらためて材料の買い出しに行き、またまた特製サンドイッチを作りました。翌朝、子どもはサンドイッチを見て、笑みを浮かべながら学校へと自転車のペダルをこいで行きました。「しっかり大縄跳びの縄を回してきーよ」と言って、子どもを送り出しました。

そんな体育大会も無事終わり、子どもにとってははいよいよ高校受験との戦いが始まりました。人の能力は、急には良くなれないと思いますが、何とか勉強に専念して、自分の希望する高校に合格してくれることを親としてひたすら願う毎日がこれで4回目となりますが、親としての宿命であり、しっかり子どもを見守っていきたいと思います。



部活動リレー



全員リレー

体育大会を終えて

浅田 未希

今年度も修学旅行、トライやるウィークなどの行事が延期になっている中、子どもたちが楽しみにしていた体育大会を開催していただきありがとうございました。

昨年度と同様、規模を縮小しての開催でしたので、今年も直接観て応援することは出来ませんでした。帰宅した子どもから感想を聞き、またその表情を見ていると、楽しかったことがひしひしと感じられました。

短い練習期間の中、一生懸命練習したと思います。コロナ禍でたくさんの制限がある中、一人一人が力を合わせて作り上げた体育大会は一生忘れられない思い出になると思います。まだまだ先の見えない状況は続きますが、いつか「こんな時もあったね」と中学生時代を思い出して仲間と笑い合えるよう、子どもたちには心身共にたくましく育って欲しいと思います。

校長先生はじめ先生方には、コロナ禍で判断が厳しい中だったと思いますが、子どもたちの成長を見る機会をいただき本当にありがとうございました。

体育大会を終えて

佐谷 勇一

「中学時代の友達是一生の友達である!」この言葉は担任であった恩師が当時にも有った"生活の記録"に書いてよこされた言葉である。中学生の私にはこの言葉の意味する処など殆ど解っていないかったというのが正直なところ。いい歳になって少し理解でき、先日の体育大会で先生の言葉がようやく解った様な気がした。同級生約140名。小学校や高校が一緒だった者を除き100名近くが中学3年間だけのお付き合い。にもかかわらずこの歳になって町内で、はたまた地方の辺鄙な所でバッタリ会ったとき、互いに何ともいえない空気になりニコリと挨拶や会釈。仲の良かった者のみならず、そうでなかった?相手でも。

コロナ禍、本年も3年生の保護者1名のみの参加。多くのお父さん方は辛抱してお母さん方に譲っておられる様に見受けられたが、我が家は妻の用事の絡みで私が観に行くことができた。演目こそ半減しているものの、中身の濃い充実した内容だったように思う。特に印象的だったのは全員リレーと大縄跳び。クラスの中で走るのが不得手な者と得意な者が協力してゴールを目指す。また全員一丸となって大声を張り上げて縄を飛ぶ姿に感極まるものがあつた。自身の学生時代の記憶も思い出しながら、これこそ最高の"教育"の一つではないのかなと感じ入った次第である。第二反抗期ともいわれるこの多感な時期にこうして一体となって仲間と精一杯の笑顔、大声で過ごした瞬間が生涯の記憶、財産と成り行くのだと。コロナで制限された縮小された大会であつたことすらも関係なく。

最後の体育大会が済み、残った時間や行事も先があと幾ばかりか。卒業までの瞬間瞬間を余す所なく心に刻んで行って欲しい。そして同級生と共有した三年間の宝物をいつまでも心に留めてもらいたい。そして今後の人生の糧にして行って欲しい。それこそが先生が教示して下さった真意だつたのではないのかなと、40年以上過ぎた今になってそう思う。



応援合戦



寄稿してくださった皆さま、ご協力ありがとうございました。

神河中学校 3年生（上から1組、2組、3組、4組）

